



☆後期のプログラム委員会が始動しました！

後期が始まり、新しい委員会、係活動、清掃場所にフレッシュな気持ちで多くの生徒は一生懸命に取り組んでいます。学年プログラム委員会の活動も始まり、バス遠足の司会、あいさつ、振り返り、しおり作成などの役割をしっかりと果たしました。



【学年プログラム委員会】

	1年1組	1年2組	1年3組	1年4組	1年5組	1年6組
会長	扇子 静	岡村 大悟	大島 優明	吉野 智晶	東 和生	船登 幸稀
副会長	富田 総司	前田 真里	伊藤 空	中嶋 俊太	谷川 渚	上島 寛太

委員長（船登 幸稀） 副委員長（東 和生） 記録（大島 優明） 書記（谷川 渚）

☆「弁護士によるいじめ予防教育」を行いました！

10月1日（金）に、山崎法律事務所の伊奈尚史氏（弁護士）を招いて、「いじめ予防教育」を行いました。法律の専門家の立場から、いじめは人権を侵害し、将来においても極めて重大な影響をもたらすものであることや人の気持ちを「心のコップ」に例え、周りの人の心の様子を想像してみることの大切さを話されていました。多くの生徒たちが真剣に講演を聴き、石原至真さん（1-1）、岡村大悟さん（1-2）、道下拓未さん（1-3）が積極的に質問をしてくれました。相手を思いやり、みんなが不安なく学校生活が送れるように各人が前向きな行動をとってほしいと思います。

<講演会の振り返り>

○掃部 夕莉（1年1組）

私は今日の話聞いて、改めていじめはやってはいけないし、怖いなど思いました。私は相手の気持ちを考えて行動することが大切だとこれまでに何度も聞いてきました。でも、実際に自分が相手の気持ちを考えて行動していると言われて、首を縦に振れないと思います。今日の話から新しい課題が見つかった気がします。私は被害者になるかもしれないし、加害者になるかもしれません。どちらにしても今日のことは頭に入れておき、いじめが起きたときに正しい判断ができるようにしたいです。



○樋詰 海翔（1年2組）

僕は今回、いじめ予防講演会を受けて、いじめは相手が嫌だと感じたら、それはもういじめだということを変更して思い出しました。弁護士の方だったので、法律や裁判のことも交えながら話をされていてわかりやすかったです。他にも、ささいなことで「心のコップ」の水があふれてしまうことや、あふれることで病気や自殺につながるという話を聞いて、少しゾッとしました。これからは自分のできる範囲だけど、考えながら言動や行動をとっていきたいです。

○久郷 葵（1年3組）

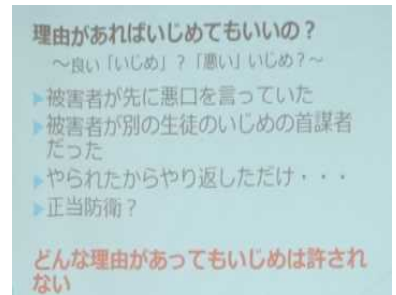
今日の話聞いて、どんな場合でもいじめていい理由がないことや誰にもいじめられていい理由がないことを知りました。コップの水の話では、みんな見えないコップを持っていて、相手のコップを考慮することが必要だといわれました。相手のことを常に考え、自分の言葉に責任を持つよう思いました。相手のコップにも自分のコップにも水をためないように心がけ、みんなが嫌な思いをしないようにすると思いました。

○田中 千絢（1年4組）

今日、いじめ予防の話聞いて、いじめは人の心を傷つけるから絶対にやってはいけないと改めて実感できました。いじめをする加害者にもリスクが大きいと知り、驚きました。心のコップで抽象的に人の心の中を表していたのがとても分かりやすく、しっかり理解できました。いじめをするといろんな人がマイナスのダメージを受け、学校に行けなくなったり、自殺してしまったりするので、世の中からいじめがなくなってほしいです。これから人の気持ちを考えて行動し、いじめ撲滅宣言を大切にします。今日はいじめについて考えることができ、いい機会になりました。

○東田 桃果（1年5組）

いじめ予防教育でいじめの恐ろしさを改めて知りました。いじめにあったらどうなるのか、実際にあった具体的なことを教えていただきました。特に印象的だったのは、いじめにあうとおなかが痛くなってしまうことがあるということです。心と体はつながっているんだなと思いました。私も人と話すときは相手の心のコップを感じて、言葉を選びながら話したいです。今日は貴重なお話をいただき本当にありがとうございました。



○濱北 桐冴（1年6組）

僕は5限目のいじめ予防教育の話聞いて、色々なことがわかりました。いじめは被害者が嫌だと思ったらいじめになるということや心にはコップがあるなどの話を聞いてなるほどと思いました。自分もいじめられているところを見たら注意したり助けたりして、もし自分がいじめられたら一人で抱え込むのではなくて、先生、家族、友達や相談所の方々にすぐに言いたいです。そして、津幡南中学校にいじめをなくして、誰もが勉強しやすい雰囲気、場所をつくれるように頑張りたいです。この度は僕たちのために話してくださりありがとうございました。

